

第2回「新居浜市国際都市づくり委員会」議事録

- 日 時 平成20年10月27日(月) 10:00～12:00
- 場 所 新居浜市役所 大会議室(5階)
- 出席者 委 員：加藤 彪委員、野村佳代子委員、定岡 優委員、三木由紀子委員
真鍋英子委員、田窪秀道委員、中田 晃委員、宇野 章委員、
吉田達哉委員、合田仁千委員、吉本さやか委員、伊藤公一委員、
平塚敏明委員、栗田敬子委員、早瀬伸樹委員、渡辺千景委員、
佐々木佐知子委員
(土井美智子委員、天野 淳委員、篠原雅士委員、松木敏幸委員
張 永慶委員 欠席)
委員代理：新居浜市立西中学校 校長 佐藤弘美子(山内委員代理)
以上18人
- 市 側：前垣市民部長 伊藤市民部総括次長
酒井市民活動推進課副課長 山崎主査 以上4人
- 計22人
- 傍聴人数 0人
- 次 第
- 1 部長あいさつ
 - 2 議 事
- (1) 基本計画の名称について
 - (2) 「新居浜市国際化基本計画」(案)について

加藤委員長	<p>前回の会で皆様にご意見をいただき、事務局で計画案をまとめました。</p> <p>目を通していただきながらご意見をいただきつつ、最終的な計画案を作りたいと思っています。</p> <p>まず、この計画の名称について事務局から提案があるそうですので皆様にお諮りいたします。</p> <p>それでは事務局、名称についての提案説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>説明させていただきます。</p> <p>今まで計画の名称につきましては、平成4年策定の計画と同じ「新居浜市国際交流基本計画」の名称を使用してまいりました。しかし、他市の計画や、シンポジウムの名称等を調べてみますと、現在は、「国際交流」という言葉より「国際化」を使うことが多いようです。</p> <p>「国際交流」は、外国との交流、海外からの訪問者との交流を指しますが、「国際化」は、「国際交流」を包括し、国際貢献・協力など全てを含むため、この計画の名称を「国際化基本計画」への変更を提案させていただきます。</p>
加藤委員長	<p>ご意見承ります。ご異議ございませんか。</p> <p>全員の賛同をいただきましたので、今後は「新居浜市国際化基本計画」という名称に変更させていただきます。</p> <p>それでは、次に「計画案について」ですが、4章に分かれておりますので、章ごとに審議をすすめてまいりたいと思います。</p> <p>まず第1章「計画策定の背景」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>この案は、前回皆様にいただきました御意見と、市内在住の外国人の方、外国人労働者や研修生の受入れ企業、小・中学校全校へのアンケート結果、また、1回目の委員会後に委員の皆様にご直接お話しをお伺いし、いただいたご意見などを基にまとめました。今回時間の都合上、直接お伺いできなかった委員さんもいらっしゃり、申し訳ありませんでした。本日ご意見を伺えたらと思っています。</p> <p>では、第1章「計画策定の背景」について説明いたします。</p> <p style="text-align: center;">————— 第1章「計画策定の背景」の説明 —————</p>

加藤委員長	ただ今の説明に対して、御質問、御意見はありませんか。
宇野委員	愛媛県東予地域外国人研修生受入れ特区が平成15年に政府から認定されているとのことですが、3人までは受入れできると知っていましたが、6人まで受入れを拡大できるということは、6人まで申請すれば、認可される可能性があるかと解釈してよいのですか。
事務局	新居浜市と今治市と西条市が合同で申請し認定された制度で、団体監理型で外国人研修生を受入れている従業員50人以下の企業の受入れ枠が従来3人のところを6人まで増やせるという受入れ人数拡大での特区ですので、6人まで研修生の受入れを申請できます。
合田委員	1ページの「多文化共生」に関する研究会を総務省が立ち上げた箇所については、立ち上げの「年」を入れた方がよいと思います。
事務局	はい。他に合わせて年を入れます。
栗田委員	「計画策定の背景」の最後の文末が、「策定します」というまとめ方ですが、題名と合っていないように感じます。
事務局	題名にあうよう言葉を入れ替えて次回提案させていただきます。
加藤委員長	他にないようでしたら第2章の説明を事務局お願いいたします。
事務局	第2章では7つの項目に分けてまとめました。 ————— 第2章「1 外国人人口推移」 ～「7 市民と外国人の関わり」の説明 —————
加藤委員長	内容としましてはアンケートが中心となっている章です。 この章について、ご意見ご質問などございましたらお願いいたします。
真鍋委員	外国人研修生・実習生とありますが、この二つは仕事上どの程度の違いが

<p>吉田委員</p>	<p>あつて、待遇などはどう違うのですか。</p> <p>研修生は、企業と雇用関係は結んでおらず、あくまで研修を目的として来られているので、給料ではなく、研修手当（生活費）を渡しして日本語と日本の文化を学んでいただいております。労働者ではありません。ですから、時間外労働もさせてはいけません。1年以内の研修期間にある程度の技術を身につけた研修生が、試験を受けて2年間日本の滞在期間が延長可能になると、実習生となり、企業と雇用関係を結びます。しかし、研修生・実習生は、一般の外国人労働者の就労ビザで入国しているのではないため、外国人労働者とは分けて考えた方が本来は良いと思います。</p>
<p>真鍋委員</p>	<p>労働者の中に研修生は入らないのですね。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>就労ビザを持っている外国人を外国人労働者といい、それとは別のビザで研修生・実習生は来ているので、外国人労働者としてひとくくりにするのは誤解を招きやすいです。</p>
<p>中田委員</p>	<p>3ページの外国人登録者の1000人のうちの、定住生、短期滞在の留学生・研修生・実習生の内訳、また、研修生・実習生合わせて315人中それぞれの内訳が分かった方が、今後新居浜市の国際交流をどうするか考えやすいと思います。</p> <p>それから、アンケート19ページで、「研修生や、実習生の多くが、賃金の不満をあげている」としていますが、研修生には研修手当を渡しているものであつて、「賃金」を渡しているのではないため、研修生に「賃金」という言葉を使うことは不適切ではないかと思ひます。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>先ほど吉田さんが研修制度のお話しをされましたが、経済産業省でこの制度に関する見直しが議論されており、平成21年の国会に向けて、1年研修、2年の実習という制度を、初めから実習生として受入れることや、滞在期間を3年から5年に延長すること、また、祖国に帰った実習生が再度日本に戻って勉強できるといった変更についての話し合いがなされていることを付け加えさせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>吉田委員さんのおっしゃったように、外国人労働者、研修生、実習生それ</p>

中田委員	<p>それぞれの違いについては把握しておりましたが、外国人労働者となるとかなり人数が減るため、3者をひとくくりにさせていただいてアンケートの表示をさせていただいていました。アンケート回答者中3人程度は、5年以上日本で働かれている方が含まれておりましたので、研修生・実習生と労働者は分けて表示するよういたします。</p> <p>また、中田委員さんのおっしゃいました19ページの「賃金」という言葉は、研修生は「賃金」をもらっているわけではないので適当ではないということですね。</p> <p>それから、労働力不足から最近看護師など外国人がフィリピンの方からも入ってきていますが、そういった意味とは違って、研修生というのは、技能実習をしていただくことで新居浜市の企業が国際貢献をはたしています。そこはきちんと分けて国際交流の対応を考えるべきです。</p>
栗田委員	<p>2のアンケート結果は、約1000人中87人という少ない回答数で、計画のこれだけのスペースを取り、分析するのはかえって誤解を招くのではないかと感じます。</p> <p>学校へのアンケートの部分も、少ない外国人児童・生徒のためにこれだけの紙面を割くのはどうかと思いました。</p> <p>教育関係でいえば、新居浜工業高等専門学校の留学生の人数を載せるとか、具体的な数値などを基にまとめたほうがよいと思います。</p> <p>これらのアンケートを基に現状と課題をまとめるのは無理があるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局でも、外国人へのアンケートは、一番後ろに資料として添付しようかと考えていました。数値や文章を中心にまとめて次回に提示させていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
佐藤校長	<p>26ページの学校における国際理解教育の中の、「外国との交流」の表で、平成15年度は実績なしとありますが、SARS（サーズ：重症急性呼吸器症候群）が外国で流行っていたためにあえなく中止したので、その表示をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。理由を含めての記入方法にいたします。</p>

合田委員	<p>4 ページの新居浜市に外国人が増えてきた理由として、平成 2 年度に日本の労働力不足から外国人労働者の入国に関する規制緩和を挙げている点は、先ほど中田委員さんもおっしゃったように、研修生・実習生は、単なる労働者を補うためではなく、外国への技術移転という国際貢献という観点で受入れているため、この制度の目的を踏まえて文言を整理した方がよいと思います。</p>
事務局	<p>ここは、言葉を付け加え、増えてきている研修生・実習生は、国際貢献という観点で受入れをしていることを踏まえた言い方でまとめます。</p>
宇野委員	<p>18 ページにある、「外国人のガイドブック」の英語版は、市民活動推進課でいただいたことがあります。中国人の研修生に渡しても読めません。新居浜市の外国人中 4 割を占める中国人のために、是非ともこの中国語版を作成していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>はい。是非作らせていただきたいと思っております。</p>
渡辺委員	<p>多言語での情報提供が必要ということですが、14 ページの病院で困る事で、「言葉が通じないため症状を伝えにくい」と多くの方が選んでいましたが、携帯用の多言語での症状カードが、イラスト付きで小児科と産婦人科のサンプルがあります。こういった物とか、新居浜市で小児の症状ごとの対処方法などをまとめたリーフレットがありますので、これらを多言語で作っていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>それらにつきましては、41 ページの「医療・保健・福祉」の多言語情報の提供の具体的施策として入れていけたらと考えています。</p>
佐藤校長	<p>19 ページの最後の段落で、(外国人児童・生徒が)「学校でいじめられるなどの問題があがっています」ということで、外国人へのアンケート中 17 ページ最後の「学校でいじめられる」を 3 人が選んでいるのですが、「いじめ」については繰り返しされることを指しますが、いじめられたこともあるけど仲よくしているのか、それとも今でもいじめられているのか。そうであれば、即解決しなければならないのですが、実情はどうだったのでしょうか。</p>

事務局	この問いかけでは、そこまで詳しい問いになっていないので、一度いじめられたのか、日常的にいじめられているのかは判断できません。
佐藤校長	いじめられたことがあるとか、冷たくされたことがあるという表現にした方がよいように思います。
定岡委員	事実を確認して、日常的にいじめられているのか、そうでないのかによって適当な言い方をしなければいけないのではないのでしょうか。
事務局	いじめに関しては、教育者の方々も力を入れて取り組まれているところですので、きちんと確認させていただきます。
加藤委員長	19ページ下、39ページ中ほどの「父兄」という言葉は、現在はあまり使われないようです。「保護者」に変えた方がよいですね。 その他ご意見ございませんか。
中田委員	今回の外国人対象アンケートは、日本語教室の窓口だけを通じて実施していますが、ボランティア団体などいろいろなところに依頼すれば、対象が偏らずバランスよくアンケート調査ができたと思います。
事務局	今から若干時間もございますので、対象範囲を広げてアンケート調査をできたらと思いますので、御協力よろしくお願いいたします。
吉田委員	4ページの中国人が急増した原因として、「特区」をあげていますが、実際特区を利用して外国人研修生を一般基準より多く受入れている企業はそんなにはないと思います。「特区」によって研修生制度が周知されたのではないかと考えられますが、その辺りの事実確認をされているのでしょうか。
事務局	中国人が増えた原因については詳しく調べて訂正いたします。
加藤委員長	その他第2章で何かございませんか。 では、続いて第3章の説明を事務局お願いします。
事務局	では、第3章「新居浜市の目指す国際化」について説明いたします。

	<p>ここからが今後の計画になります。</p> <p style="text-align: center;">————— 第3章「1 基本理念」 「2 体系図」の説明 —————</p>
加藤委員長	<p>2章の現状と課題を踏まえての第3章ですが、ご質問ご意見ございましたらお願いいたします。</p>
栗田委員	<p>基本理念の説明中の「故郷」という意味はどういう意味で使われていますか。</p>
事務局	<p>ここでいう故郷という意味は、外国人の方が自分の国に誇りをもって国名を隠したりせずにという意味で使っています。</p>
栗田委員	<p>新居浜市のまちづくりという点を重視すればその使い方は、あいまいになるように思います。</p>
加藤委員	<p>自分の生まれ育った故郷をいつも心に置きながら、新居浜の人々と共生しながらまちづくりをしていくということでしょう。</p>
栗田委員	<p>外国人の方がそれぞれの故郷を大切にすることをもちいただくことは大事な部分ですが、新居浜市民が外国人に接する時に故郷という言葉は関係は薄いと思うのですが。</p>
加藤委員長	<p>新居浜市民も、外国人もそれぞれ故郷を大切にしながらということになりますでしょうか。そのところまた事務局の方でよい表現を考えてみてください。</p>
事務局	<p>改めて全体を通して表現を見直してみます。</p>
加藤委員長	<p>第3章他にございませんか。 では第4章をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、第4章「新居浜市の国際化基本計画」について説明いたします。</p> <p style="text-align: center;">————— 第4章「1 国際理解・交流・協力」 —————</p>

	<p>～「3 国際化を進める体制づくり」の説明 —————</p>
加藤委員長	第4章のご意見、ご質問ございませんか。
真鍋委員	42ページの(2)国際化ボランティアの登録の中の、「日本人への外国語教師」というのはどういう立場の方々でしょうか。市民へのサービスになりますか。
事務局	日本人の市民が英語や中国語を習う場合の講師のボランティアのことで、市民へのサービスになります。
真鍋委員	外国語の教師は、職業であって、ボランティアの中に入れにくいのではないのでしょうか。
事務局	出前講座などで、韓国語講座とかボランティアで講師を实际されている方もいらっしゃいますので。
栗田委員	はじめのところで、他国の文化・言語講座とここにまとめたらどうでしょうか。
加藤委員長	その他ございませんか。
栗田委員	40ページの④災害時の支援に関してですが、学校や公民館が避難所になっているところの「避難所」の多言語表示を見ました。新居浜市でも、その表示を多言語でお願いできたらと思います。
事務局	災害時の多言語ツールというものが自治体国際化協会のホームページから提供されています。「避難所」の表記の仕方などの情報が公開されていますので、これらを利用したの表記などを検討させていただきます。
渡辺委員	41ページの1段目の「母子手帳」は、正式には「母子健康手帳」、また、「母子保健や保育」は、「子育て支援」という言葉を使うのが一般的です。

事務局	わかりました。修正いたします。
野村委員	<p>36ページの1では、国際理解・交流・協力とあるのですが、研修生・実習生が新居浜市に来られた目的は、技術を学ぶためであるので、それは、国際貢献につながっています。この「貢献」をどこかに入れた方が新居浜市のらしさが出るし、どのような国際理解や国際協力をしていけばよいか特徴が出るのではないかと思います。</p> <p>それから、新居浜市に住んでいらっしゃる外国人の方、永住者、研修生・実習生などは日常それぞれ、一般市民とどのような交流をされているのか教えてください。</p>
事務局	<p>研修生・実習生に関しては、市民との交流はほとんどないと聞いております。外国人や市民の集うグローバルパーティーや、スピーチコンテストなどのボランティア団体などが主催するイベントには参加されているようですが、普段は、日本語教室に通うくらいしか一般市民との交流はないと思いますがどうでしょうか。</p>
宇野委員	<p>そうですね。会社単位でのイベントなどはあっても、地域のイベントに参加することはまずありません。</p>
事務局	<p>それから、新居浜市に永住されているような方は、あまりまだアンケートがとれてはないのですが、お子さんのいらっしゃる方は、その子どもさんを通じて親同士などの交流はあるようですが、国籍などの関係から一步引いてしまうという話もきいております。</p>
加藤委員長	<p>その他何かございますか。</p>
真鍋委員	<p>例えば、外国人の方の個展があったり、在住している外国人が自分の国の友達を呼んできてイベントなどをすることもあるのですが、彼らは私達が見に行くと、本当に喜んでくれます。私達のボランティア団体にはそういった情報は入ってくるのですが、一般の市民の方に知らせる方法はありませんか。</p>
加藤委員長	<p>そういったイベントを一人でも多くの市民に知ってもらい参加してもらえるPRの場についてはどうでしょう。</p>

事務局	<p>やはり、事務局の方でも気になっている点でありまして、それぞれでされていることはあるのですが、それらのいろいろな情報を市民の方々に周知していくシステムづくりは力を入れていきたいと思っております。ホームページが主になろうかと思いますが、周知方法も考えていきたいと思っております。</p>
加藤委員長	<p>今日は委員の皆様からたくさんのご意見をうかがいました。次の会では、事務局にこの案を修正して提示いただき、次の会が最終回となり、計画案が出来上がればと思います。本日の計画案の審議については以上で終わりにさせていただきます</p>
事務局	<p>委員の皆様、本日は長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>次回は、12月1日の月曜日10時から12時、この5階大会議室において第3回委員会の開催を予定しております。また後日案内状をお送りいたしますのでどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>これで、第2回委員会を終了いたします。</p>